

企業ニュース シキノハイテック

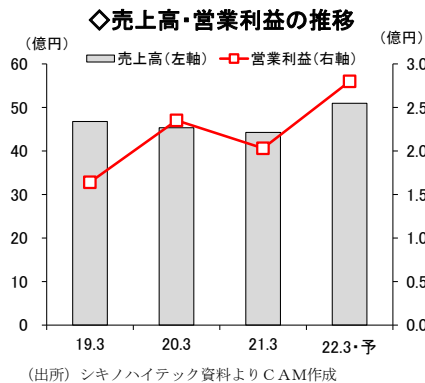
(東証JASDAQ : 6614) <https://www.shikino.co.jp>

作成者: 村上大志

車載向けバーンイン装置では国内トップシェア

1975年設立。電子システム、マイクロエレクトロニクス、製品開発と3つの事業を展開する。電子システムでは主に半導体部品の検査機器であるバーンイン※装置の開発・製造を行っており、当社によると車載向けでは国内トップシェア。マイクロエレクトロニクスでは、情報家電（スマホ、デジタルカメラなど）や車載機器（カーナビゲーションなど）で使用される画像処理などをメインとしたLSI（大規模集積回路）の設計を行っている。製品開発では、画像技術を活用しコンビニATMなどに採用されている産業用組込カメラ・システムの開発などを行う。21.3期のセグメント別売上高構成比は電子システム36%、マイクロエレクトロニクス40%、製品開発24%。

※バーンイン：高温環境下で動作テストを実施し初期不良を除去する試験



通期計画据え置きだが、受注は好調で上振れ余地あり

22.3期・第2四半期累計（4-9月）の業績は売上高が25億600万円、営業利益は1億3,000万円。20.3期、21.3期・第2四半期の四半期財務諸表を作成していないため、前年同期比はなし。新型コロナウイルスや材料納期遅延などの影響を受けたが、高付加価値製品への取り組みやコスト削減などで売上高、営業利益ともに計画を上回った。製品別ではバーンイン装置の受注が拡大したほか、組込カメラが医療関連機器向けで増加し業績に寄与した。

22.3期の会社計画は売上高が50億9,600万円、前期比15%増、営業利益が2億8,000万円、同38%増。受注は好調で業績が上振れる可能性が高いが、部品の長納期化の影響を考慮し通期計画は据え置いた。電子システムではバーンイン装置の受注拡大が続いており、生産キャパシティの増加に取り組んでいる。製品開発では10月から本格適用されたマイナンバーカードの健康保険証適用に関し、当社の組込カメラがその読み取り部分に採用された。現在は病院向けのみだが、今後は薬局などへ順次拡大していくとのことで業績への貢献が期待される。

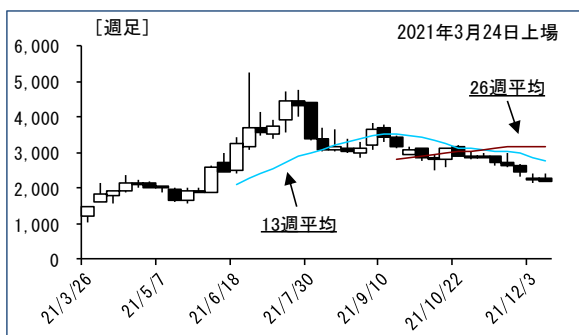
[株価動向・投資判断]

会社側は今期を成長元年と位置付けている。研究開発費の増加で利益的には物足りなさが残るが事業は順調に拡大しており、来期以降の成長が期待される。

<6614 シキノHT 業績: 単独>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	4,531 (▲3)	235 (43)	235 (39)	113 (▲6)	38.0	0.00
21.3	4,425 (▲2)	203 (▲14)	209 (▲11)	113 (▲1)	37.4	0.00
22.3 予	5,096 (15)	280 (38)	286 (37)	200 (77)	48.2	未定



株価 (2021/12/10)	2,187 円
年初来高値 (高値日)	5,240 円 (21/6/24)
同 安値 (安値日)	1,050 円 (21/3/25)
予想 P E R (22.3 予)	45.4 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	316.7 円
P B R	6.91 倍
予想配当利回り	— %
(1株当たり配当金 未定)	
R O E (21.3)	11.9 %
発行済み株式数	437 万株